

夢と意欲

開校して40年目となる阿品台中学校の第11代校長として2年目を迎えました。どうぞよろしく申し上げます。

まずは、新型コロナウイルスに対する万全の対策を行いながら、学校生活が送れるという当たり前のことが1日でも長く続きますことを願っています。

阿品台中学校は、眼下に瀬戸内海を一望でき、南西には安芸の宮島を臨む風光明媚な高台にある学校です。

3号館・1号館のリニューアル工事を終え、今後、7月から12月までの2号館リニューアル工事が進められていきます。3年間にわたる工事も完了し、開校当時を思い出すような美しい外観、生徒が安心安全に生活できる施設設備、そして、最先端の学習環境が整えられ、今以上に、生徒たちが毎日通いたくなる自慢の学校へと生まれ変わると思います。

今年度、本校では、廿日市市教育計画基本理念にある『ふるさと廿日市』に愛着と誇りを持ち、未来を担う人づくりを行うために学校教育目標を『ふるさと廿日市』に愛着を持ち、夢と意欲にあふれる生徒の育成」と決めました。

これからの社会が先の予測しにくく急速に変化する激しい時代であるからこそ、「かかわり」「ふるさと廿日市」を合言葉に、「地域の成長・発展を支える人材」から「世界を舞台に活躍する人材」まで、厚みのある人材層の基礎の育成を図ります。そのために、学校・家庭・地域で他者と協働して学びながら資質・能力を高め、よりよい自分づくりに向けて「学ぶ意義」を追究し、「課題解決力」「自己有用感」を常に意識しながら、生徒・教職員がバージョンアップできるような教育活動を展開してまいります。数年後に、生徒や保護者の皆様に、「あの時、阿品台中のあの先生方と学んでよかった。」と思ってもらえる学校を目指し、日々の授業を大切にしながら、生徒一人一人の夢の実現に向けて生徒が主語の主體的な教育活動を展開しながら、信頼され誇りの持てる学校に向けた教育活動を進めてまいります。

ともに伸びていくためには、自分を含めたすべての人・物・事を大切にできる人になるということです。自己や他者の尊厳を自覚し、その人が伸びようとするのを心無いからかいやいじめ・いじりなどで阻害することは絶対に許しません。違いを理解した多様性社会を実現するためには、周りの雰囲気流されない確固たる生き方を身につけて欲しいのです。

学校の日々の生活場面に置き換えれば、いたって当たり前のことで、一人一人がいることで周りの人が笑顔や元気になれたり、一生懸命になろうと思えるようなお互いを高めあえる行動がとれるということです。本校では『夢と意欲』という言葉大切にしています。夢をいただき、達成に向けて何事にも一生懸命取り組むことはカッコいい、反対に取り組まないことは恥ずかしくなるような学校にしたいと考えています。



これから、347名の生徒たちとたくさんの感動を味わいながら、この1年が終わった時に、阿品台中学校に関わるすべての方々と1年間の成長を喜び合えるよう、「時・場・事」の一瞬一瞬を大切にしながら真摯に取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

